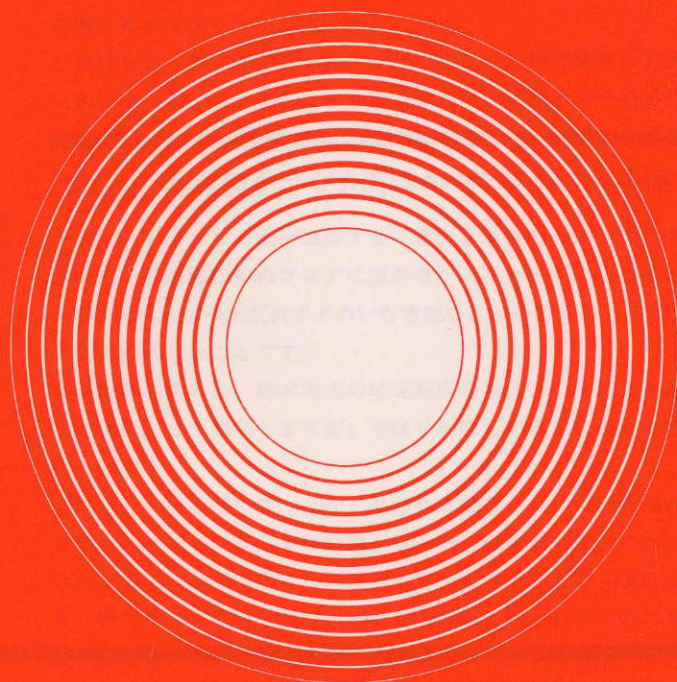


TALENT EDUCATION ALL JAPAN CONCERT

violin・piano・cello・flute・koto by 3000 children

3000人の児童によるコンサート

バイオリン・ピアノ・セロ・フルート・箏



- とき——昭和51年3月20日(土)春分の日 P.M.2:00
- 主催——社団法人 才能教育研究会
- ところ——日本武道館大ホール(東京・九段)
- 後援——財団法人 幼児開発協会
- 入場料——指定席 ¥500
- 賛助——財団法人 正派邦楽会

特別指定席(チャリティ) ¥1000

●この売上利益金は脳障害児治療センターに寄付させていただきます。

1976

ごあいさつ



鈴木鎮一



井深大



本多正明

生れつきではない どの子も育つ、育て方ひとつ ●才能教育研究会会長 鈴木鎮一

能力も心も生れつきではない。世界中のすべての子供達が、それぞれの国の母国語を身につけて、すすくと優れた能力に育ってゆくその事実と同じように、育て方ひとつで、他の事においても母国語教育のように、子供達は皆、立派に育つ可能性をもって生れている、ということを知りました。そして私は、音楽の教育においてそれを実証して、世界の人々に訴えつづけてきました。

人類最大の誤りは、大昔から今日まで、育てそこねても気がつかず、生れつきだ、遺伝だ、素質がないからだ、都合のよい結果論を信じきって、すべてのベビーに与えられているそのすばらしい高い教育の可能性を知らないままに過ごしてきたことだと思います。

私は遺伝においては「遺伝の法則」があると共に、能力には「能力の法則」があるということを知りました。能力は生れつきではないのです。

私は今から40数年前に、母国語の教育法を探究して、音楽の教育法、幼児の教育法をつくり、子供達をノータストでうけとって育て、実証してきました。

教育とは、育てることであり、生命のその大いなる力と働きが、0才から能力を身につけさせてゆくのです。従って、生命のその大いなる力、働きを知る人びとのみが、能力を身につけさせる道、即ち教育法を知る人びとであり、どの子も育つその高い可能性を開発する道を知る人びとでありましょう。

どの子も育つ教育法の革命は、たぶん明日の人類の世界に光明を与え、新しい時代がつくられてゆくことになりましょう。人類全体の目覚めが一日も早くきてほしいものです。

バッハの協奏曲をひく子供達 ●幼児開発協会理事長 井深大

世界で一番小さな人達が演奏する一番大きな音楽会が、又今年も開かれます。

此の広い武道館の中央フロアに演奏者が入りきらずに、2階の客席にまではみ出して、しかも3000人が一糸乱れずきれいな音色をきかせてくれる感激は、此の音楽会へきた人でなければ味わえないことです。

私は世界中の人に、鈴木先生の幼児教育の考え方の立派さを話す度に、此の音楽会の偉大さを例に出して説明しますが、やはり出席した人でなければほんとうのよさは分って貰えない様です。

やっとしゃべる様になったかと思われる位の4、5才の子供達が、バッハの協奏曲を堂々とひいてのけるということは奇蹟としかい様もないが、これが例外の天才によってだけなされるのではなく、早くから適当な方法でスタートさえすれば誰でもやれるというところを、世の中の人はどうしてもっとよく認識してくれないのであろう。

此の事実は、現代の教育者の根本的な考え方に革命を起さなければならない、大きな実証であることを知らなければならない。

世界才能教育結成の夢 ●大会委員長 本多正明

才能教育がはじめて外国に紹介されてから、既に12年余の歳月がたちました。

この間、此の考え方と運動が、アメリカをはじめとして世界各国に拡がって行く有様は、誠に驚くべきものがあります。

この姿と、毎年秋、子供達との海外への演奏、講演旅行からの体験により、芸術、殊に音楽が、明日の世界の人々の心を開く唯一の鍵であると確信するに至りました。

そして此の為、一日も早く才能教育の世界組織を作る必要を感じ、今年はその準備のため努力したいと思っております。

●大会委員長——本多正明

●大会副委員長——田中金重

●実行委員長——松井宏中

●実行副委員長——山本真嗣

●実行副委員長——大熊篤生

●実行委員——広瀬八朗〈関東地区〉

齋 則道〈関東地区〉

佐藤勝夫〈関東地区〉

安田広務〈関東地区〉

富川 敏〈関東地区〉

三樹 正〈関東地区〉

近藤富雄〈東海地区〉

片岡世界〈甲信越地区〉

中塚 久〈東北地区〉

参納悦次郎〈関西地区〉

●東京事務所——水野明夫

●ピアノ伴奏——柳田三佐子

●賛助出演〈箏〉——正派邦楽会

総裁・中島雅楽之都

プログラム

第24回卒業式 午後1時

- 開会の辞——大会委員長 本多正明
挨拶——会長 鈴木鎮一
卒業証書授与——会長 鈴木鎮一
祝辞——名誉会長 徳川義親
祝辞——理事長 井深大
卒業演奏 1. ブーレ——バッハ
2. ガボット——ゴセック

<休憩>

第22回全国大会 午後2時

●第1部 バイオリン合奏

1. 協奏曲 第4番 第1楽章——モーツァルト
2. 協奏曲 イ短調 第1・2・3楽章——バッハ

●第2部 A——ピアノ独奏

- a. イタリア協奏曲 第1楽章——バッハ

B——フルート合奏

- a. <ベニスの謝肉祭>より アグレット——ジュナン

C——箏

- b. <アルルの女>よりメヌエット——ビゼー

- a. 六段の調べ——八橋検校 } この2曲を同時に演奏
松籟譜——中島雅楽之都 }

D——セロ合奏

- a. 楽興の時——シューベルト

- b. 白鳥——サン・サーンス

E——箏とバイオリンの合奏

- b. 春の海——宮城道雄

F——みんなで歌おう

- a. 森のこびと——〔絃楽伴奏編曲 山下健一〕
b. 手のひらを太陽に——〔絃楽伴奏編曲 中塚久〕

●第3部 バイオリン合奏

3. アレグロ——フィオッコ
4. 協奏曲 ト短調 第1楽章——ビバルディ
5. 二つのバイオリンの為の協奏曲 第1楽章——バッハ
6. 協奏曲 イ短調 第1楽章——ビバルディ
7. ユーモレスク——ドボルザーク
8. メヌエット〔二部合奏〕——ベートーベン
9. ブーレ〔二部合奏〕——ヘンデル
10. メヌエット 3番〔二部合奏〕——バッハ
- ★11. 無窮動〔二部合奏〕——鈴木鎮一
- ★12. アレグロ〔二部合奏〕——鈴木鎮一
- ★13. むすんでひらいて〔二部合奏〕——外国民謡
- ★14. こぎつね〔二部合奏〕——外国民謡
- ★15. 蝶々〔二部合奏〕——外国民謡
- ★16. キラキラ星変奏曲——鈴木鎮一
- ★——2階生徒席で演奏

24th Graduation Ceremony P.M.1:00

- Opening Greetings——Chairman of Annual Concert M.Honda
Greetings——President S.Suzuki
Presentation of Diplomas——President S.Suzuki
Words of Congratulations——Hon. President Y.Tokugawa
Words of Congratulations——Chairman of E.D.A.M.Ibuka
Graduation Concert 1. Bourrée——Bach
2. Gavotte——Gossec

<Intermission>

22nd Annual Concert P.M.2:00

●1 VIOLIN

1. Concert D dur 1st mvt.——Mozart
2. Concert A min. 1st 2nd. and 3rd mvt.——Bach

●2 A——PIANO

- a. Italian Concert 1st mvt.——Bach

B——FLUTE

- a. Allegrett from "Carnival of Venice"——Genin

- b. Minuet from "L' Arlésienne"——Bizet

C——KOTO

- a. Rokudan——K.Yatsunami

- a. Shourai fu——U.Nakazima

D——CELLO

- a. Moment Musical——Schubert

- b. The Swan——Saint-Saëns

E——KOTO and VIOLIN

- b. Haru no Umi——M.Miyagi

F——A concert by Strings and Chorus

- a. Mori no kobito——arr. by K.Yamashita
b. Tenohira o taiyō ni——arr. by H.Nakatsuka

●3 VIOLIN

3. Allegro——Fiocco
4. Concert G min. 1st mvt.——Vivaldi
5. Concert D min. for Two Violins 1st mvt.——Bach
6. Concert A min. 1st mvt——Vivaldi
7. Humoresque——Dvorák
8. Minuet——Beethoven
9. Bourrée——Händel
10. Minuet NO.3——Bach
11. Perpetual Motion——S.Suzuki
12. Allegro——S.Suzuki
13. Go Tell Aunt Rhody——Folk Song
14. Song of the Wind——Folk Song
15. Lightly Row——Folk Song
16. Twinkle, Twinkle Little Star-Variations——S.Suzuki

卒業制度について

毎年、秋がふかまり空の青さが増してくると、いよいよ卒業テープ提出の季節です。指導者の先生方の大きな仕事が始まります。この各科〔初等科前期・初等科・中等科・高等科・研究科〕卒業曲のテープ吹込みは、生徒の年齢には無関係で、先生と子供と母親の三者が気持を集中し、それが白熱した状態の中で鈴木先生に聞いて頂くテープの吹込みが完了するのです。

●鈴木先生は毎朝3時に起床され、全国各地の教室から続々と送られてくるテープを、一本一本、まるでその生徒の演奏を前にしておられるような調子でお聞きになり、意欲づくりのための適切な言葉が吹込まれます。その驚嘆すべき状況は次の通りです。

●鈴木先生の昨年度卒業時の感想

「昨年〔昭和49年〕の10月中頃から送られてきた今年度の卒業テープを毎日きき続けて、この3月上旬の現在で凡そ4500名ほどの生徒さん達のテープをききました。今年も演奏の進歩は全国的にめざましく、ことに幼児の能力の育ちが目立ち、その卒業生たちの質が向上し数が増えてきたこと、幼児が教育の高い可能性を明らかに示し始めたことは、本当にうれしいことです。

私が今日現在までにテープをきいた3才から6才までの卒業生の数は、バイオリン科897名、ピアノ科415名、セロ科29名、合計1340名ありました。これは全卒業生数の3分の1にあたります。

●「この事実は、お母様方の私の教育法へのよき理解と、子供の意欲づくりの成果、<どの子も育つ、育て方ひとつ>という事実を、皆さんで証明して下さいののです。有難いことです。

考えてもみて下さい。ビバルディのバイオリン協奏曲やモーツァルトのピアノソナタ K・331をひく幼児たちのことを。これ等の曲は、昔の音大生の曲です。重ねて私は声を大にして、すべての親に訴えたいのです。

意欲づくりと、教育法さえ正しければどの子も育つのです。育て方ひとつです。

子供のこの高く育つ可能性は、どの子にもあるのです。育てて下さい。」

卒業テープ提出制度の狙い

子供たちの〈意欲づくり〉のために最大の効果のある教育

法の一つなのです。

レッスンの時にあれこれ努力して骨折るよりも、どうすれば家庭でよくおけいこするようになるかを考えるのが指導のうまさであり、意欲づくりこそ子供の教育の第一の課題であります。

家庭で余りおけいこしない子供でも、先生から「卒業させてあげるから、レコードをよくきいて、しっかりおけいこして下さい」と言われると、俄然、意欲的に変わります。

さてその上で、弾ける曲を、より立派に、より音楽的拍子と美しい音のうたい方へと〈能力づくり〉を目指して育てることが狙いなのです。

普通の個人レッスンで、ただレッスンを受けるためだけに通っている子供たちは、意欲もなく喜びもありません。従って家庭でおけいこせずにレッスンを受ける習慣がついてしまうのです。これでは立派に育つはずがありません。

普通のテストとの比較

- 1—テストは採点され、生徒はその点数と順位だけに一喜一憂させられます。
- 2—テストは採点に重点がおかれるので、採点に容易な問題が選ばれます。言葉をかえると、テストは生徒の学力を伸ばすためよりも、学力を計るために、更に学力を計りやすくするためにあるようにさえ思われます。
- 3—テストの目的が入学試験になると、選別そのものが目的となるので、優秀校ほど問題は難解でひねくれています。

つまり、普通学校などで行われているテストは、子供たちの学力を伸ばすことよりも、その学力を計ることに大きくかたむいていることは確かであるようです。

私たちの卒業テープの提出は——

テストではありませんから、鈴木先生が点数をつけ、順位をきめて発表するわけでは勿論ありません。この子供の演奏のいろいろな欠点のどの一つをえらんで、それをどのような表現で直していけばよいのか、この子供の意欲づくりはどうすればよいのか、それが適確に考えられるのです。

毎年の卒業テープ5000本の集大成は——

鈴木先生は一本一本心をこめて、この5000本のテープをおききになります。ここで全先生の指導ぶりや、子供達の様

ざまな演奏に関する驚くほど莫大な量の〈情報〉が鈴木先生の頭の中に集大成されるわけです。これ等のすべてが整理され、分析されて、スズキメソッドの重要な要素に結晶されたものが、翌年5月の指導者研究大会の6日間にわたる集中講義のテーマとなるわけです。

今年で卒業式は第24回を数えますので、勿論卒業テープの数は年々増加してきているわけですが、鈴木先生はこの驚嘆すべきお仕事を20年以上にもわたって、毎年続けてこられたこととなります。スズキメソッドが世界にむかってぐんぐん拡がっていくその原動力は、ここにあるのではないのでしょうか。

才能教育運動の目的

鈴木先生の言葉

「私たちの運動は、単なるおけいこ事でもなく、音楽家を目指す幼児教育でもありません。

子供の本質を知り、意欲づくりのうまさの中に子供を育て、わが子を立派な人間へと育て上げる運動です。これは最も大きなわが子への愛であり、親としての賢明な正しい道であると思います。」

●私たちの言う卒業とは、次表卒業曲一覧のように、教科書中の重要な5つの段階を、卒業曲のテープ吹込と提出とい

う、教育的に非常に大きな意味と価値のある操作によって、それぞれの段階を完全に身につけていくと言うことであります。

ただ次から次へと曲を進めていくのではなくて、各ポイントにおける確実な進級と言うことであります。したがって、卒業すると教室から、その生徒がいなくなるというわけではありません。

●3000名を明らかにこえる子供たちのバイオリン合奏が、全員の一度の練習もなしに整然と行われ、生き生きと輝く音色で人びとに感動を与えますのは、スズキメソッドが鈴木先生の人格によって偉大な活力を附与され、指導者と親はこの力にゆり動かされて、新しい教育への喜びと方法を体得し、子供たちはこの愛の力にはぐくまれ、きわめて高度な目標に向って一直線に進みつゝある、その姿の反映であるからだと思えます。

	昨年度各科卒業生数					●単位——名
	初等科前期	初等科	中等科	高等科	研究科	計
バイオリン	1230	806	554	192	117	2899
ピアノ	1225	460	146	45	24	1900
セロ	42	34	25	11	2	114
フルート		25	18	3	4	50
計	2497	1325	743	251	147	4963

各科卒業曲一覧

		初等科前期卒業	初等科卒業	中等科卒業	高等科卒業	研究科卒業
バイオリン科	作曲者	ゴセック	バッハ	ビバルディ	バッハ	モーツァルト
	曲名	ガボット	ブーレ	協奏曲 ト短調 1楽章	協奏曲 イ短調 全曲	協奏曲 第4番 全曲
	教科書	1巻	3巻	5巻	7巻	10巻
	演奏時間	2分23秒	3分46秒	4分31秒	15分18秒	22分50秒
ピアノ科	作曲者	バッハ	バッハ	モーツァルト	バッハ	★モーツァルト
	曲名	メヌエット2番	二つのメヌエットとジーク	ソナタ イ長調 K・331 全曲	イタリヤ協奏曲 全曲	戴冠式協奏曲 全曲
	教科書	2巻	4巻	7巻		
	演奏時間	1分50秒	5分36秒	24分25秒	12分20秒	31分19秒
セロ科	作曲者	バッハ	ベートーベン	ビバルディ	ポツケリーニ	ポツケリーニ
	曲名	メヌエット	メヌエット ト長調	ソナタ ホ短調 1・2楽章	ソナタ イ長調	協奏曲 変ロ長調 1楽章
	教科書	1巻	3巻	4巻	6巻	
	演奏時間	2分	2分30秒	5分20秒	9分00秒	10分00秒
フルート科	作曲者	ヘンデル	ビゼー	ジュナン	ドップラー	モーツァルト
	曲名	ブーレ	アルルの女からメヌエット	ベニスの謝肉祭	ハンガリー田園幻想曲	協奏曲 第2番 全曲
	教科書	1巻	3巻			
	演奏時間	1分40分	3分50秒	3分15秒	11分10秒	17分05秒

★ピアノ科研究科卒業曲は、この「戴冠式」又はベートーベンの「熱情」ソナタの何れかです。

昨年度大会演奏アルバム

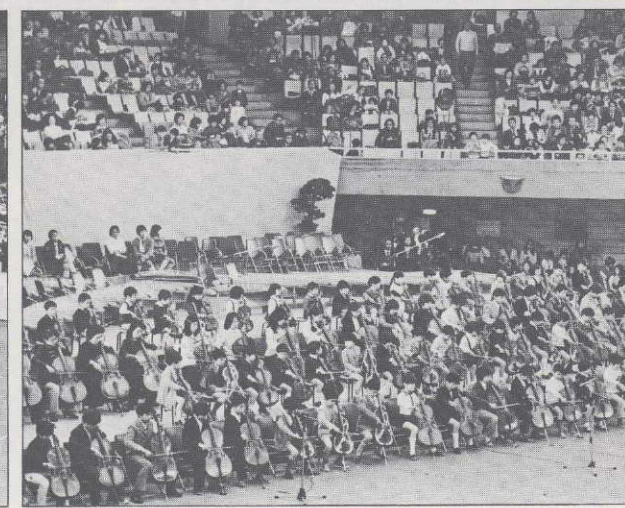
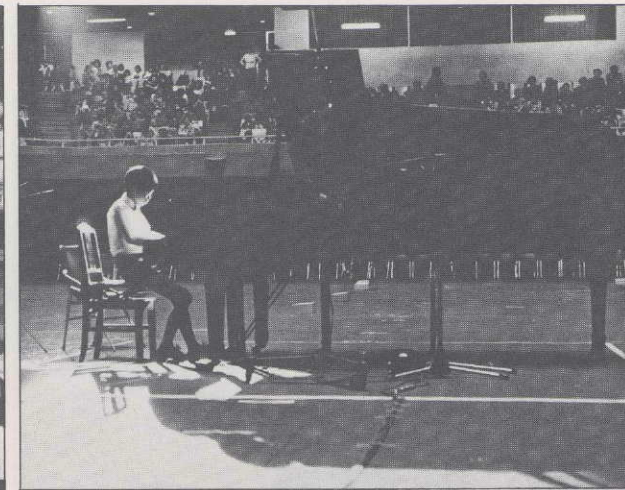
バイオリンの出場生徒が3000名をこえると、全員で一度に演奏することができなくなり、昨年は、初級生徒の第1部

〈写真②〉と、上級生徒の第3部〈写真①〉に別れて大合奏が行われました。



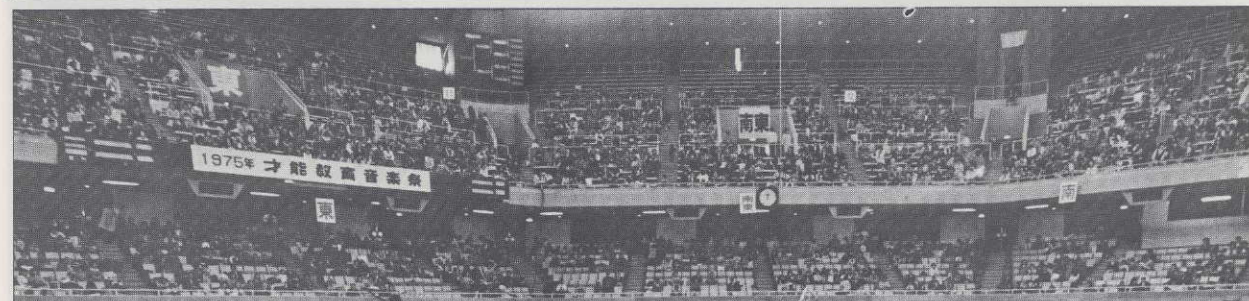
- ① — ドーマン博士はじめ外国よりの来賓を紹介される本多大会委員長
- ② — ピアノ独奏
- ③ — フルート合奏

- ④ — 春の海 箏100名、バイオリン100名による大合奏
- ⑤ — セロ合奏



昨年度大会第23回卒業式

- ①卒業免状授与
- ②徳川名誉会長祝辞
- ③第23回卒業生(最前列は各科卒業生代表)



鈴木鎮一ピアノ指導曲集曲目一覧表 〈1巻～7巻〉 全音楽譜出版社

●昨年度大会のプログラムには、鈴木鎮一バイオリン指導曲集〈1巻～10巻〉曲目一覧表をお目にかきましたので、今年にはピアノを、来年はチェロとフルートを記したいと思います。

●ピアノ科のスズキメソッドによる指導曲集7冊ができて約6年になりますが、この僅かの期間に生徒数は5000名をこえてしまいました。今までのバイエルやツェルニーなどの練習曲につぐ練習曲の道から完全にさよならした子供たちです。

●練習曲はあくまで練習曲です。こればかりをいくら積み重ねても、そこから真の音楽がもつ生き生きした喜びを味

わうことはできません。現在ピアノを習う無数の子供達の殆んど大部分が、数年間でいつの間にかピアノから離れてしまうのはこの為です。

●スズキメソッドでピアノを習う子供たちは、僅か数年間でバッハやモーツァルトの小品を驚くほど音楽的にいきいきと弾くようになり、さらにバッハのパルティータ一番の2つのメヌエットとジグや、同じくバッハのイタリヤ協奏曲、更にはモーツァルトの戴冠式協奏曲への素晴らしい道が眼前に展開されているのです。

●8・9・10巻は現在製作中です

- 第1巻〈曲名・作者〉
- 1 キラキラ星変奏曲——鈴木鎮一
 - 2 ちょう ちょう——ドイツ民謡
 - 3 ぶん ぶん ぶん——ボヘミア民謡
 - 4 かつこう(右手)——ドイツ民謡
 - 5 かつこう——ドイツ民謡
 - 6 ちょう ちょう——ドイツ民謡
 - 7 こどもの歌——外国曲
 - 8 ロンドン橋——イギリス民謡
 - 9 メリーさんの羊——外国曲
 - 10 むすんでひらいて——フランス民謡
 - 11 月の光——リュリ
 - 12 ロング ロング アゴー——ペーリー
 - 13 おともだち——クワタル
 - 14 アラビアの歌——不明
 - 15 アレグレット 第1——ツェルニー
 - 16 さようなら——ドイツ民謡
 - 17 アレグレット 第2——ツェルニー
 - 18 クリスマスデイ・シークレット——デュットン
 - 19 アレグロ——鈴木鎮一
 - 20 ミュゼット——不明

- 第3巻〈曲名・作者〉
- 1 ソナチネ——クレメンティ
 - 2 ソナチネ——クーラウ
 - 3 バガテル——ベートーベン
 - 4 勇敢な騎士——シューマン
 - 5 エコセーズ——ベートーベン
 - 6 ソナチネ——クレメンティ
 - 7 ソナチネ——モーツァルト

- 第4巻〈曲名・作者〉
- 1 ロンド(「ソナチネ」から)——モーツァルト
 - 2 メヌエット 第1(「トリオのある8つのメヌエット」から)——モーツァルト
 - 3 メヌエット 第3——モーツァルト
 - 4 メヌエット 第8——モーツァルト
 - 5 ミュゼット——バッハ
 - 6 ソナタ 第1楽章・第2楽章——ベートーベン
 - 7 ガボット——バッハ
 - 8 メヌエット 第1・第2(「パルティータ変ロ長調」から)——バッハ
 - 9 ジグ(「パルティータ変ロ長調」から)——バッハ

- 第5巻〈曲名・作者〉
- 1 エリーゼのために——ベートーベン
 - 2 アラベスク——ブルグミュラー
 - 3 清い流れ——ブルグミュラー
 - 4 ソナチネ へ長調——ベートーベン
 - 5 古いフランスの歌(「こどものためのアルバム」から)——チャイコフスキー
 - 6 プレリュード——バッハ
 - 7 インヴェンション——バッハ
 - 8 ソナタ 第48番——ハイドン
 - 9 シシリアふう——シューマン
 - 10 最初の悲しみ——シューマン

- 第6巻〈曲名・作者〉
- 1 かつこう——ダカン
 - 2 小プレリュード——バッハ
 - 3 ソナタ K.V. 330——モーツァルト
 - 4 ソナタ K.V. 545——モーツァルト
 - 5 ソナタ「田園」——スカルラッティ

- 第7巻〈曲名・作者〉
- 1 ソナタ K.V. 331——モーツァルト
 - 2 プレリュード——ヘンデル
 - 3 ゆかいな鍛冶屋——ヘンデル
 - 4 メヌエット——パデレフスキー

- 第2巻〈曲名・作者〉
- 1 音階練習(ハ長調)
 - 2 エコセーズ——フンメル
 - 3 短い物語——リヒナー
 - 4 音階練習(ヘ長調)
 - 5 楽しき農夫——シューマン
 - 6 音階練習(ト長調)
 - 7 メヌエット 第1——バッハ
 - 8 メヌエット 第2——バッハ
 - 9 メヌエット 第3——バッハ
 - 10 音階練習(ト短調)
 - 11 メヌエット——バッハ
 - 12 子守歌——ウェーバー
 - 13 メヌエット——モーツァルト
 - 14 アリエッタ——モーツァルト
 - 15 メロディ——シューマン
 - 16 ソナチネ——ベートーベン
 - 17 ミュゼット——バッハ
 - 18 メヌエット——バッハ

●指導曲集添付レコードについて——模範演奏 第1巻～第4巻 小林道夫先生 第5巻～第7巻 広瀬悠子先生/ディヌ・リパッティ/ワルター・ギーゼキング

才能教育研究会1年のあゆみ

昭和49年度ピアノ科卒業式



3月26日 大阪・厚生年金会館大ホール(第5回)
3月28日 東京・サンプラザホール(第4回)
3月30日 松本・才能教育会館(第5回)

●
今年の卒業生は、大阪地区713名、東京地区1049名、松本地区138名の計1900名に及びその内訳は、前期初等科1225名、初等科460名、中等科146名、高等科45名、研究科24名でした。とくにピアノ研究グループからは発足後5～6年の僅かな期間に今年は1507名という卒業生を出し、先生方の御努力お骨折には全く頭の下がるものがあります。

第1回チェロ科全国大会



5月4日 名古屋市・愛知県文化講堂

●
チェロ科のはじめての全国大会が名古屋で行われました。この大会には、東京、大阪、神戸、京都、長野、山梨、名古屋の各地区から200名の生徒が集り、本部からも鈴木会長始め、本多理事が出席し、1400の席は満員となりました。この盛況は地元の名古屋支部をあげての応援によるものです。支部の皆さま誠に有難うございました。第2回チェロ科大会は今年の5月9日(日)に東京中野のサンプラザホールで行われます。今回はフルート科もこの大会に加わります。バイオリン科、ピアノ科の方々も、大いに御協力ください。

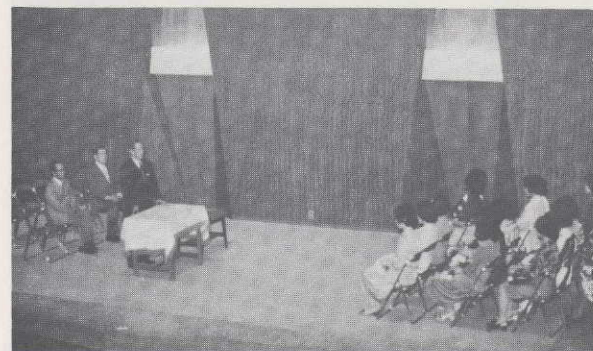
ソ連文化副大臣とコーガン氏広瀬教室を見学



5月21日 東京・幼児開発協会代官山教室

●
ソ連の文化副大臣とともに、世界的に有名なバイオリン奏者のレオニード・コーガン氏が幼児開発協会の広瀬八朗先生教室を訪問され、井深理事長と本多理事が才能教育の説明にあられました。コーガン氏は子供達のひくエクレスのソナタやザイツのコンチェルトなどを、ひとりひとり実に注意ぶかくきかれ、良い演奏にはブラボーと叫ばれました。この演奏にぶかく感激されて数日後、井深理事長のところに才能教育の子供たち300名をソ連に招待して演奏会を開きたいとの申込みがあった程でした。

第3回ピアノ科講師認証式



5月24日 才能教育会館 新任ピアノ研究グループ講師25名

●
〔東京地区〕小林康子／新田恵子／中村淳子／高井恵子〔関東地区〕斉藤幸子〔東海地区〕山本紀子／天野陽子／鈴木典子〔関西地区〕富永民子／谷口耐子／高月貴久子／松尾豊子／鈴木房栄／三室泰子／谷孝恵子／梅原幸子／長野律子／中瀬幸世／熊崎知子〔中国地区〕灰佐洋子／金子淑子／福井明子／尾曾越桜子〔北陸地区〕竜田静子〔九州地区〕加世田敦子の25名の先生方です。今後の御健闘をお願いいたします。翌25日、講師全員の招待会が白馬山麓の白馬グリーンクラブホテルで行われました。

国際スズキメソード研究ハワイ大会(出席者総数871名)



- 期間——昭和50年6月26日～7月5日 10日間
- 会場——ハワイ・ホノルル市ワイキキ海岸のホノルルヒルトンホテル(8泊・全室ツインルーム)
- 参加費——168000円〔航空運賃・ホテル宿泊代・食事代・市内観光費等〕
- 登録料——1名 10ドル〔出席者全員〕
- 旅行社——日本通運東京航空支店〔港区新橋〕
- 出席——日本 571名〔会長・理事・教育部及びピアノ研究グループ指導者・事務局・会員及び生徒・本会関係者〕
アメリカ・オーストラリア 300名〔バイオリン・ピアノのスズキメソードの指導者及び研究者〕
- 出発——先発便 羽田発 18:45 NW 002
後発便 羽田発 21:30 JAL 062
後発便 羽田発 21:30 NW 010

571名の大人数でしたがジャンボ機3台にスムーズに分乗しました。

- 到着——先発便がホノルル国際空港に到着したのは朝の6時半、税関をすまし表に出ると、キラキラとすみ渡った青空、何ともさわやかなそよ風の中で、ムウムウ姿の人に香り高いレイをくアローハと一人一人の首にかけてもらい、ハワイ到着の感じをふかく味わいました。
- 会議場——研究会場は、ヒルトンビレッジのコーラルボールルームで、その広さは流石アメリカでした。主会場が264坪、その両側に202坪と、97坪宛の2部屋が並び、23坪の小部屋が3室続き、34坪が1室、受付のあるロビーが何と284坪もあり、廊下をのぞく合計が、1047坪で勿論厚いジュータンが敷きつめられ、900名の出席者が実にゆったりした気持で、様々な会議・研究・レッスン・又その見学に打込むことができました。〔毎春の全国大会々場日本武道館の演奏フロアは750坪です。〕
- 開講式——到着の日の午後1時30分、祝寿の後、ハワイ州のネルソン土井副知事の格調高い歓迎の挨拶に始まり、大会委員長本多理事の開会の辞、鈴木会長、井深理事長、アメリカ才能教育のケンドール会長、ドーマン博士の挨拶、日米理事者の紹介、日本から参加した200名の子供たちのバイオリン演奏が行われて終了しました。この夜、ホテル前の浜辺のふるような星空の下で、ポリネシアの華麗なショーをみながら会食し、ハワイムードを全

員で満喫しました。

●研究会——6月27日から7月1日までの5日間、朝9時から11時半まで、午後は1時から4時まで、鈴木会長を中心に講演、研究、公開レッスン、生徒の教室毎のレッスンとその見学が、実に和やかな、しかもピーンと張りつめた緊張感の中で繰りひろげられました。

丁度この時期、鈴木会長は肩をひどく痛められ、眠れない程の日は幾晩もあったようですが、終始さわやかな笑顔ですべての人に接しておられました。この鈴木先生から生まれたスズキメソードの世界への強烈な浸透力を、太平洋の真ん中のハワイで、皆が痛切に感じたわけです。

●コンサートとフォーマル・ディナー——28日夜は、日米合同の晩さん会とコンサート。色彩鮮やかなムウムウと正装のドレスで会場の雰囲気は華やかに盛り上がり、新しい友情の数々が多くのテーブルで生まれました。

30日夜は、ハワイユースシンフォニーに始まる、バイオリン、ピアノ、箏、尺八、小林武史先生のバイオリン独奏など、夜の更けるのを忘れませんでした。

7月1日午後は最後のコンサート。そのフィナーレは、鈴木会長のピアノ伴奏で、日米の全先生と子供たちによるキラキラ星のバイオリン大合奏。その輝くような音色がホール一杯にひびきわたりました。

●観光——7月2日と3日は、自由行動で、ハワイ・カウアイの二島めぐり、オアフ島一周、サンセット遊覧コース、シーライフパークコース等、それぞれにハワイの休日を楽しみました。

●ハワイ研究大会の企画と実施
前年の9月頃、本多理事が東京事務所にこられて、ハワイのヒルトンホテルを600室、1200人分予約しましたと言われ、正直なところアツと息をのみました。その発端と会長の承諾、旅行代理店との交渉、ホテルの決定、アメリカ側出席諸条件の打合せと決定、ホノルル現地の受入態勢の準備、日本側出席に関する諸準備と会員へのアピール及びその促進、最後に研究会日程にもとづく1000坪大会場の部屋割り、各部屋に必要な搬入品の明細、晩さん会とコンサート会場の椅子テーブルの数と配置、招待者名簿に至るまで——これ等が東京で行なわれるにしても大変な事ですが、本多先生はこの殆どすべてを〔ハワイとアメリカでは英語で行わなければならないこともあり〕やっつけてのけられたわけです。その行動力、決断力、ひめられた御心労の数々、そして大会の見事な成果、私たちはどれ程感謝しお礼の言葉を申し上げても足りないと思います。

●ハワイにおける第2回大会は、昭和56年6月下旬～7月上旬に同じヒルトンホテルで開催のことが、昨年夏の理事会と総会で決定されました。

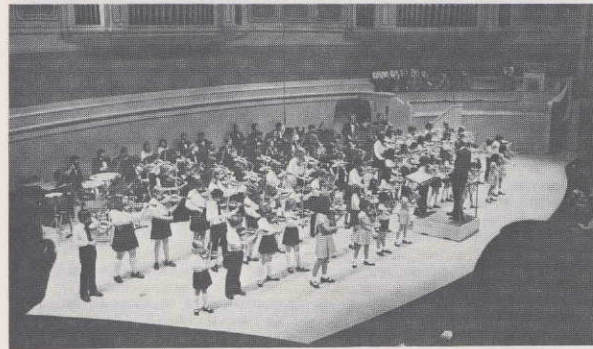
第26回夏期学校



7月28日～8月1日(前班)・8月1日～5日(後班)
才能教育会館・松本市民会館・松南高校<3会場>

●
前班と後班で1200余名の生徒が全国各地の教室から参加しました。とくに今回はアメリカ、カナダ、オーストラリア、ベルギー、フランス、デンマークの各国から先生や生徒が多数出席し盛会を極めました。鈴木会長の合奏レッスンは夏期学校の焦点であり意欲作りの見本です。この信州松本における夏期学校の5日間で、子供たちの勉強意欲がびつくりする程たかまります。毎回参加者が1000名を越すのはこのためです。

第11回訪米演奏旅行



9月25日～11月8日<45日間>

●
アメリカ各州及びカナダのトロントなど、16都市で演奏と講習が行われました。メンバーは、本多理事を団長に、望月謙児さん、バイオリン指導者は広瀬八朗、田沢毅、矢島千世、田辺典子の4先生、ピアノ伴奏は広瀬悠子先生でした。又バイオリン生徒は、笠井知子、松野弘明、竹沢恭子、武居由美子、樋口ゆみ、菅野美絵子、ピアノは、葛西浩子、田辺晴子、今井菜々子さん、セロは、野村朋享君の10名の方々でした。さてとくにフィラデルフィアのアカデミー大ホールでは3000名の聴衆に大きな感動をあたえました。

予告

昭和50年度ピアノ科卒業式

3月26日(金)午前10時 大阪府青少年会館

3月29日(月)午前10時 東京都サンプラザホール

3月31日(水)午後1時 松本市才能教育会館

3地区の卒業コンサートでは、2000名をこえる今年度卒業生の代表として、夫々40～50人の子供達が演奏を行います。スズキ・メソッドによる毎年の見事な成長の姿が一目瞭然です。

鈴木鎮一会長喜寿祝賀演奏会

4月14日(水)午後6時30分 郵便貯金ホール 東京・浜松町

演奏者——江藤俊哉/小林武史/豊田耕児/小林健次

浦川宜也(年齢順)

<弦楽伴奏>才能教育東京弦楽合奏団

主催——鈴木鎮一門下生有志

協賛——社団法人才能教育研究会

財団法人幼児開発協会

マネジメント——甘利音楽事務所

入場券——S.5000円 A.3000円 B.2000円

第2回チェロ全国大会

5月9日(日) 東京・サンプラザホール

チェロ科の第1回全国大会は、昨年5月名古屋で開催されましたが、今年はフルート科も加えて東京で行われます。バイオリン・ピアノにくらべて生徒数はまだまだ少数ですが、チェロもフルートも素晴らしい楽器です。これを機会に、小学校の上級生、中学生から始められる方にとくにすすめていたします。

指導者研究大会

5月16日(日)～21日(金) 伊豆・天城東急ホテル

8年前には2回続いてこの地で研究大会が行われました。伊東から車で40分、標高1000mの丘の頂上に唯一軒のホテルです。5月の青空の中に純白雄大な富士が眼前一杯にひろがります。この別天地に200余名の指導者が参集し、6日間にわたってスズキ・メソッドの集中研究が行われます。

プログラム第2部 F——みんなで歌おう

●a. 森の小人 山川清——作詞

森の木かげで どんじゃらほい
しゃんしゃん手拍子 足拍子
たいこたいて 笛吹いて
今夜はお祭り 夢の国
小人さんがそろって にぎやかに
あほうい ほういよ どんじゃらほい

おつむふりふり どんじゃらほい
かわいいお手々で おどりだす
三角帽子に 赤いくつ
お月さんにここにこ 森の中
小人さんがそろって おもしろく
あほうい ほういよ どんじゃらほい

●b. 手のひらを太陽に やなせたかし——作詞

ほくらは みんな生きている
生きているから歌うんだ
ほくらは みんな生きている
生きているから悲しいんだ
手のひらを太陽に すかしてみれば
まっかに流れる ほくの血しお
みみずだつて おけらだつて
あめんほうだつて
みんなみんな 生きているんだ
ともだちなんだ

ほくらは みんな生きている
生きているから笑うんだ
ほくらは みんな生きている
生きているから嬉しいんだ
手のひらを太陽に すかしてみれば
まっかに流れる ほくの血しお
とんぼだつて かえるだつて
みつばちだつて
みんなみんな 生きているんだ
ともだちなんだ

出版物

世紀の巨匠による名曲アルバム



30cmLPモノラル2枚組 ¥4200(会員)

●企画発行——才能教育研究会

●製作——東芝EMI

昨年の<子と母の名曲アルバム>に続く第2集です。カザルス・クライスラー・コルトーなど世紀の巨匠による、パツハ・モーツァルト・ショパンなどの小品名曲の演奏は、すべての人びとにとっての座右宝です。

●才能教育研究会 支部・教室のお問合せは——

●本部——〒390 長野県松本市深志3-10-3 TEL.——松本0263(32)7171

●東京事務所——〒101 東京都千代田区神田駿河台1-6 主婦の友ビル7階 TEL.——東京03(295)0270

●東海事務所——〒464 名古屋市千種区春岡通4-15 大沢美良方 TEL.——名古屋052(751)3436

落伍させない教育法 才能教育研究会実験教室 田中茂樹著



サイマル出版社 ¥950

今の教育界は、次第に<落伍させる教育法>へと全体が進んでいるような気さえます。時代の進歩による教育内容の多彩と、上級学校入学への著しい増加は、この傾向を益々強めることでしょう。これに対してスズキメソッドが一般教育にどれほど大きな影響と貢献を与え得るかを、本書は見事に語っております。